

令和3年度の重点課題

全国もしくは県の平均を下回った種目
 中1男子：持久走
 中2男子：握力 50m走 持久走
 中3男子：握力 上体起こし 50走 立ち幅跳び
 ハンドボール投げ 持久走
 中1女子：ハンドボール投げ 持久走
 中2女子：持久走
 中3女子：50m走 持久走

持久走が、全学年の共通課題種目である。
 令和3年度の重点課題は①「全身持久力」及び「筋持久力」の向上とする。
 また、本校の特性を踏まえた、②運動の日常化を促進するための校内体制の整備、③運動への多様な関わり方を理解し、実践できる機会の設定、④保護者、地域との連携による運動交流機会の設定を行う。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- ①保健体育の授業において、陸上競技を扱う単元では、準備体操のときに1周200mのトラックを長く走らせることにより、トラックに慣れさせるだけでなく持久力の向上にもつながるようにした。水泳の単元では、速く泳ぐことよりも長く泳ぐことを目的として取り組ませた。また、本校は学校とグラウンドに距離があるため、その距離を活用し、少しの間でも体を動かせる工夫をした。
- ②A4LC(エイフォーエルシー：部活動)の体系を整備し、毎週水曜日、土曜日の2日間、運動系4種目、文化系3種目の活動を生徒が主体的に取組めるように見直しを図った。また、新体力テストを年度当初の集団活動(学校行事)に位置付け、全校で取組む体制を整備した。
- ③体育的學校行事を開催し、運動への多様な関わり方、魅力に応じた楽しみ方、協働することの楽しさなどを味わう機会を設定した。
- ④体育的學校行事のプログラム内に、保護者、地域の方の参加型種目を設定し、運動を通しての交流機会を設定した。また、地域の方が主催する「グラウンドゴルフ大会」への参加等、日常の運動機会の充実を図ることができた。

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	33.20	31.10	54.50	58.70		391.65	7.55	199.10	22.45	49.60	第2学年	26.40	25.35	56.20	52.50		298.68	8.53	173.90	13.50	57.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第2学年	33.20	31.10	54.50	58.70		391.65	7.55	199.10	22.45	49.60	第2学年	26.40	25.35	56.20	52.50		298.68	8.53	173.90	13.50	57.00

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	55.00	35.00	5.00	5.00	第2学年	35.00	45.00	15.00	5.00

学校独自の意識調査

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・「全身持久力」向上のために準備体操でランニングを取り入れるだけでなく、生徒がより楽しく向上できるように「縄跳びタイム」を設定し、縄を1人ずつ用意して準備運動の1つのメニューとして取り組ませる。
- ・運動やスポーツには「行う」だけでなく、「見る」「支える」「知る」などの多様な関わり方がある。授業では、運動の学習場面において、ペアやグループなどを設定して仲間の学習を援助できる環境を常に作ること、実際のプロ選手の動きを見せたり、そのスポーツについて調べ学習をさせること、授業の中で大会を設置して生徒たち自らが企画・運営できる取り組みなどを進める。これらの取り組みを通して、運動やスポーツの多様な関わり方を身に付けさせる。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・本校は自然豊かな環境にある学校である。その自然を生かした取り組みとして、島内に本校独自のランニングコースを設定し、朝の時間を使用して自然と触れ合いながら仲間と共に体力向上に努める取り組みを行い、最終的にマラソン大会として位置付ける。
- ・島で行われるスポーツ大会に補助役員として生徒たちを参加させて、大会を支える役割を担うだけでなく、選手たちの質の高い動きを見てスポーツとの関わりを深める取り組みを行う。
- ・学校全体が体力向上に全面的にサポートできるよう、トレーニングルームを設置して、生徒も教員も運動に関われる環境を整える。

重点課題

全国もしくは県の平均を下回った種目

- 中1男子：なし
 中2男子：立ち幅跳び
 中3男子：反復横跳び、持久走(全国のみ)、立ち幅跳び
 中1女子：持久走(全国のみ)
 中2女子：なし
 中3女子：持久走、立ち幅跳び(全国のみ)

- ・持久走と立ち幅跳びが下回っている学年がいくつか見られた。
- そのため、令和4年度の重点課題は「全身持久力」と「瞬発力」の向上とする。「全身持久力」は昨年度も同様に重点課題として挙げられていたため、より重視して取り組む必要がある。
- ・広島県の中学2年生の体力合計点の平均値が昨年度よりも下回っていることから、本校生徒における運動との多様な関わり方の現状を再度確認する必要がある。

令和5年度の重点目標値

- 記録について (中2男子)立ち幅跳び：平均値を1cm伸ばせるようにする。(中3男子)反復横跳び：昨年度の記録を下回っていたため昨年度の記録を上回るようにする。持久走：全国の平均値を上回るようにする。立ち幅跳び：毎年約10cmずつ記録が伸びているので継続させる。(中1女子)持久走：全国の平均よりも10秒ほど下回っているため5秒記録を縮められるようにする。(中3女子)持久走：県の平均を超えられるようにする。立ち幅跳び：全国の平均を上回るようにする
- 運動やスポーツが嫌い・やや嫌いの生徒の割合を男子は8%以下、女子は15%以下にする。
- 男子の立ち幅跳びを平均値を超えられるようにする。
- 運動やスポーツに多様に関わることができるように環境を整える。